

かいけ心正こども園では、今年度の園運営（令和3年度教育推進の重点と実践）について職員が自己評価を行いました。その結果と取り組み状況についてお知らせします。

1. 令和3年度に定めた重点項目に取り組むにあたり設定した学校評価の具体的目標

学校評価の趣旨を理解し自己評価を行うことにより、職員自らが客観的に自園の教育・保育を振り返り、施設等の改善、教育保育内容の改善に取り組んでいくための姿勢を身につける。

2. 評価項目の達成及び取り組み内容

職員にアンケートを実施し、各自が各項目について評価をしたものを総合的に判定しました。

【評価の基準】

A) 十分達成されている B) 達成されている C) 取り組まれているが、成果が十分でない D) 取り組みが不十分である

【結果の基準】 肯定的評価 (A+B) A: 85%以上 B: 75%以上 C: 65%以上

評価項目	取組内容	結果	理由
1 園の教育方針・内容	1 園訓・教育理念・教育方針のもと、0歳児から就学前までの「目指す子どもの姿」を具体的にイメージすることができる。	A	・今年度は、園訓・教育理念・教育方針を職員全員が共通して理解するために、「目指す子どもの姿」を具体的に提示し、共有して活動に取り組んでいる。そのため、基本理念を具体的にイメージすることができている。
	2 園の全体計画及び教育課程は、認定こども園教育・保育要領を踏まえ園の理念に則したものになっているか、教職員間の共通理解のもと、定期的に見直しを行うようにしている。	A	・園の全体計画や教育保育課程、年間計画等は、定期的に見直し、検討している。 ・毎月行っている月案会では、子どもの実態に即した内容にするよう努めている。また、会議の中で、縦割りでの活動を確認することで、つながりある保育内容になるよう心がけている。
	3 園の方針（SDGs活動等）や特色教育を指導計画や保育に生かそうとしている。	A	・今年度は、園全体でSDGs推進のための取り組みを行っている。毎月の指導計画の中にも、SDGsを意識しながら、各年齢の保育実践を振り返り、保育内容を見直す機会を作り、計画的に取り組んでいる。
2 職員の職務	4 全職員がコンプライアンスに関心を持ち、理解に努めている。	B	・職員採用時に、コンプライアンスについての個別研修を行ったり、必要に応じて、朝礼終礼等で情報共有や注意喚起を行ったりしている。今後も定期的にコンプライアンスの知識や意識を持つよう徹底していきたい。
	5 全職員がチームの一員としての自覚を持ち、共通理解を心がけている。	B	・朝礼や終礼、職員への全体報告日などで情報共有や共通理解などを行っている。また、時差出勤等による働き方により情報が漏れないよう、職員メールやタブレットも活用している。
	6 全職員が様々な研修会に、積極的に参加している。	B	・新型コロナウイルス感染状況によって、ハイブリット型研修等をできるだけ利用し、積極的に参加している。また、外部講師や職員会での園内研修も実施し、園全体での資質向上に努めている。
	7 全職員が、言葉遣いや立ち居振舞いなどに気を配り、子ども達のお手本としての姿を心掛けている。	B	・「子どものお手本」であるという意識が、職員によってばらつきがあり、十分でない部分が見られる。改めて、職員間で意識統一を図りながら、職員一人ひとりがさらに努力するようにしていきたい。

3 地域交流・施設管理	8	園の教育方針や考え方について、保護者に分かりやすく伝えている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 園からの定期的な便り等で、園の方針や取り組み、思いを保護者の方にわかりやすく伝えるよう努めている。また、実際に園での子どもたちの様子をHPやSNS等を活用しながら、さらに幅広く伝えられるよう努めている。
	9	保護者のニーズの把握につとめ、職員間で共通理解をし、要望や苦情に適切な対応をはかっている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 管理職を含めた情報共有を行い、保護者の方の要望等にも素早い対応が出来るよう努めている。 職員間でしっかりと共通理解を持ち、園の方針等を十分に伝えていけるよう、今後も努めていきたい。
	10	小学校や公民館など地域との連携につとめている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も、新型コロナウイルス感染予防のため、小学校や地域との連携がほぼ実施できなかったが、感染対策を取りながら交流や連携ができるよう検討していきたい。
	11	園が行っている子育て支援について具体的な形や内容を理解し、職員全体で協力して行っている。	C	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の前半は、計画通り未就園児イベントの開催や園開放等行うことができた。後半は新型コロナウイルス感染予防のため、個別対応での開催となったが、急な日程変更等により担当職員のみでの対応だったため、職員全体では取り組みなかった。
	12	広く地域の方々に園の教育理念や教育方針を理解してもらえるように、園の情報をHP等で常にわかりやすく発信している。	A	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ感染予防のため、定期的な参観日等を行うことができなかったため、できる限り子どもたちの様子をHPやSNSを活用し動画等を配信している。 テレビやラジオ、配布物等でも園の様子を地域にも多く発信するよう心がけている。
13	様々な防災対策を進め、防災についての知識や訓練をおこなっている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練年間計画に沿って取り組み、職員および園児の安全教育や防災意識を高めるよう努めている。 引き渡し訓練や職員の防火訓練も定期的実施している。 	

3. 学校評価の具体的目標や取り組み内容の総合的評価結果

結果	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も、コロナ禍において、感染予防に気を配りながら園の活動を行ってきた。新型コロナウイルス感染防止の観点から、様々な行事や活動の見直しをすることが、結果的に「子どもたちにとって何が一番か」という「子ども主体」の原点に立ち返ることになり、改めて教育保育課程等の見直しにもつながった。 毎年12月に、保護者の方に「学校評価アンケート」にご協力いただいている。その結果、園に対しておおむね理解を得られているように感じられた。しかし一方で、保護者とのコミュニケーション不足を指摘されることもあり、園全体の発信に加えて、個別の対応もしっかりと取り組んでいきたい。 子育て支援については、未就園児向けに園開放等を随時開催することにより、子育て相談や親子での触れ合いの場の提供と同時に、園の雰囲気を感じてもらえる機会となった。新型コロナウイルス感染状況により、来園できない代わりにHPや動画配信など違うやり方に変更した。今後も、HPやSNS等の広報媒体を活用し園の様子を発信していきながら、子育て支援活動の内容を検討していきたい。

4. 令和4年度の重点項目

- ① 地域になくなくてはならない認定こども園作りとして、子どもの最善の利益のために、幼児教育・保育の充実を目指し、教育的特色の強化を図る。
- ② 「かいけ心正こども園」の一員として、質の高い幼児教育の提供のための環境整備に努める。
- ③ 「地域の総合子育て支援センター」として保護者や地域から理解され、安心安全な施設となるよう努める。